

提言書

「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2013」に関する提言書

平成25年7月6日、7日に開催されました「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2013ー」に於いて討議された意見を以下のとおり提言いたします。

大テーマ『“日本一住みやすいまち”たじみにするには』

中テーマ『子どもも大人も一緒に育つまちづくり』

討議テーマ1：子どもと大人が上手に関わり合うには

子どもと大人が上手に関わり合うために、子どもと大人との距離感を縮め、一緒に参画できるしくみを作り上げていくことを求めます。

- ・大人から子どもに挨拶の大切さを教えるために、スタンプカードを用いたあいさつキャンペーンなどを利用した啓蒙活動を望みます。
- ・地域の大人と子どもと一緒に関われるよう、各種イベント(ラジオ体操、昔のあそび、おもちゃ修理、読み聞かせなど)やボランティア活動(清掃活動等)との橋渡し等を市が積極的に行っていくことを望みます。
- ・大人と子どもが安心して集えるような施設(整備不良のない公園等)を望みます。
- ・安心して利用できる施設を活用した交流の機会(多治見ホームステイ、老人ホーム慰問等)を創出していくことを望みます。

討議テーマ2：子どもに「たじみ」を好きになってもらうには

子どもに「たじみ」を好きになってもらうために、子どもが安全に楽しめる環境を整備するとともに、多治見の魅力を積極的にアピールしていくことを求めます。

- ・子どもが安全に楽しめる魅力的な施設(娯楽施設や商業施設等)の誘致を望みます。
- ・老朽化した施設(ガードレールや歩道橋等)の補修等による町の美化を望みます。
- ・多治見には修道院や永保寺などすばらしい財産がたくさんあります。子どもボランティアを育成するなど広報の仕方を見直し、多治見の魅力を強くアピールしていくことを望みます。
- ・子どもが安全に安心して、多治見を移動できるような自転車専用道路の整備を望みます。

討議テーマ3：子どもが安心して生活できる地域にするには

子どもが安心して生活できる地域にするために、安心、安全のためのセーフティネットが必要だと考えます。そこで様々な観点からのセーフティネットの構築を求めます。

- ・子ども達にとって安全な環境作り(歩車道の分離、街路灯の設置、樹木の適正管理、水飲み場の設置、ききょうバスの子ども無料化等)を望みます。
- ・子ども達が安心して生活できるよう、見守り隊組織の充実や『子ども110番の家』の見直し等を行い、地域全体で子どもを守るような仕組み作りを望みます。
- ・危険予知訓練(大声をあげる練習等)、危険箇所のマップや防犯ブザーの配布など防犯対策を望みます。

討議テーマ4：私たちは地域の子どもの健全に育てるために何をしたらよいでしょうか

私たちが地域の子どもの健全に育てるために、以下が必要だと考えます。そして、これらに対する積極的な支援を求めます。

- ・大人が得意分野を活かして子ども達に様々なことを伝えられる仕掛け(楽器や書道などの道具の貸し出し、寺子屋、カウンセラー等)の充実を望みます。
- ・各種イベント(課外授業や職場体験等)を充実させることで、大人も子どもも必要なことが学べるような仕組み作りを望みます。
- ・親子間を含めた大人と子どものコミュニケーションを活発にするために、事例集(褒め方、見守り方等)を発行するなどの積極的な啓蒙活動を望みます。
- ・子どもが健全に育つためには、子育て環境の整備も重要です。託児所や保育所の充実、保育料の補助や小児医療補助の充実などの他、困った時の相談窓口を設置するなど、より子育てがしやすい環境の整備を望みます。

平成25年 9月3日

たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 水野 智恵子